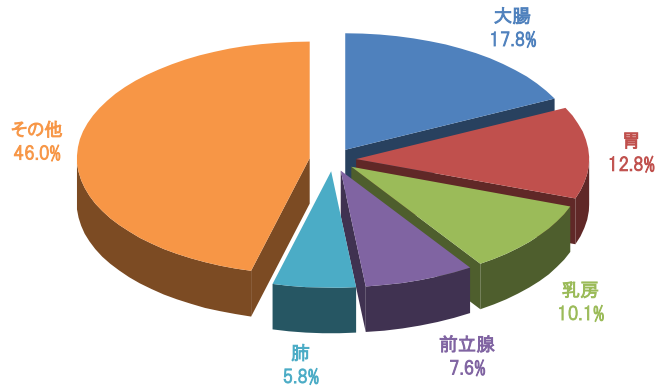


2017年 院内がん登録

部位(登録数) 上位5部位

	男	女	合計	構成比
大腸	63	51	114	17.8%
胃	63	19	82	12.8%
乳房	0	65	65	10.1%
前立腺	49	0	49	7.6%
肺	22	15	37	5.8%

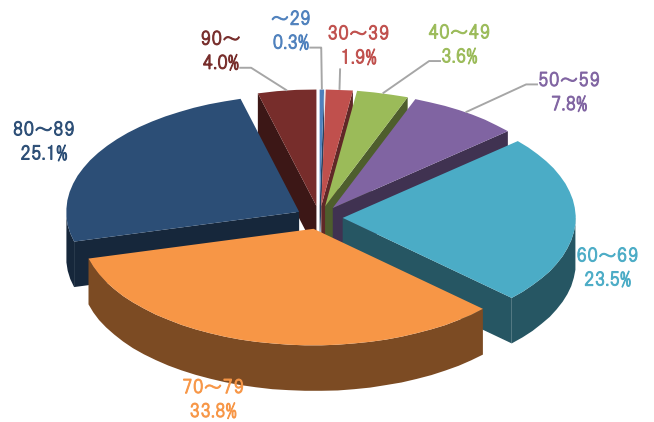
◆全体の登録件数は増加している。大腸・胃・乳房は前年同様当院の登録数上位のまま。大腸・胃の割合はあまり変化ないが、乳房は前年より1.5%上昇した。



年齢階層別

	男	女	合計	構成比
~29	1	1	2	0.3%
30~39	1	11	12	1.9%
40~49	5	18	23	3.6%
50~59	17	33	50	7.8%
60~69	105	46	151	23.5%
70~79	146	71	217	33.8%
80~89	86	75	161	25.1%
90~	11	15	26	4.0%

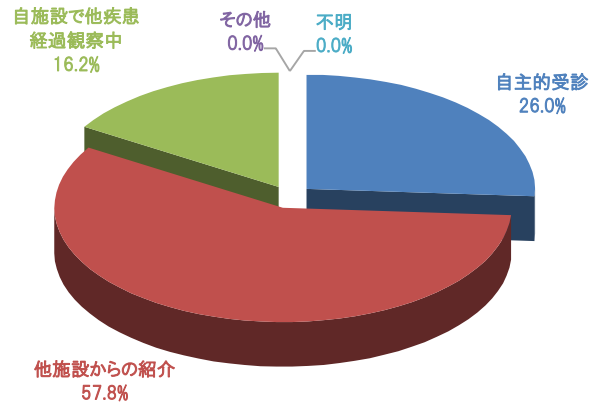
◆年齢階層別では、70代の割合が増加(+4.8%)している。若年層(59歳以下)の割合は減少傾向



来院経路

	合計	構成比
自主的受診	167	26.0%
他施設からの紹介	371	57.8%
自施設での他疾患経過観察中	104	16.2%
その他	0	0.0%
不明	0	0.0%

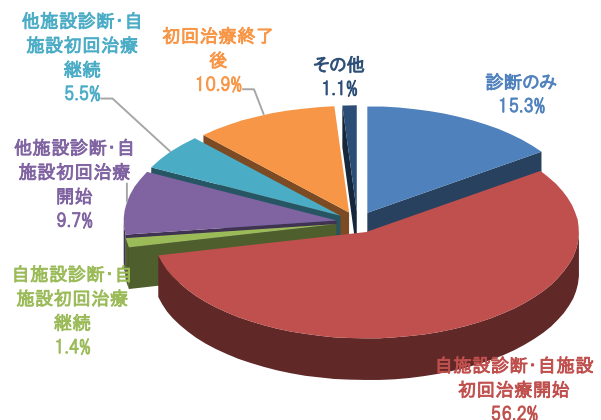
◆他施設からの紹介割合は少し減ってはいるが、依然6割弱を占めている。自主的受診の割合が増えた。



症例区分

	合計	構成比
診断のみ	98	15.3%
自施設診断自施設初回治療開始	361	56.2%
自施設診断自施設初回治療継続	9	1.4%
他施設診断自施設初回治療開始	62	9.7%
他施設診断自施設初回治療継続	35	5.5%
初回治療後	70	10.9%
その他	7	1.1%

◆診断のみ、初回治療後の割合が増えている。部位ごとの登録数で肺が上位になっているが、専門医不在もあり、診断のみにとどまっていることと、また、週1回の呼吸器外科医の診察時にあわせ、他施設での治療後に経過観察のための紹介も増えていることが要因と考えられる。



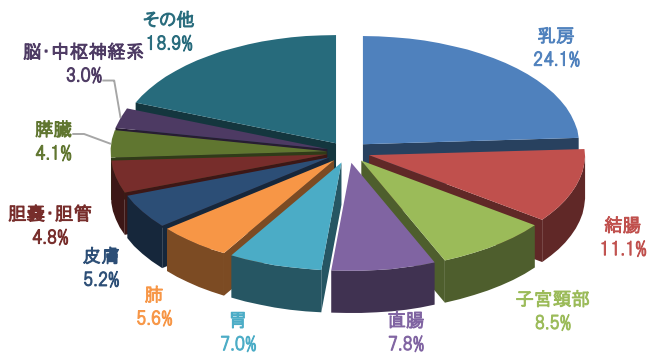
＜高知県立幡多けんみん病院 2017年 院内がん登録(詳細)＞

		性	～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	90～	総計	件数	比率
口腔・咽頭	女			1	1	5	2	3	1		3	15	2.3%
	男				1						12		
食道	女			1	1	2					4	26	4.0%
	男				1	7	12	1	1		22		
胃	女					4	6	8	1		19	82	12.8%
	男				4	18	27	12	2		63		
結腸	女				2	2	5	19	2		30	70	10.9%
	男			1	3	12	17	6	1		40		
直腸	女			2	1	5	5	8			21	44	6.9%
	男				3	10	6	4			23		
肝臓	女				1	1	2	2		1	7	22	3.4%
	男				1	7	5	2			15		
胆嚢・胆管	女						3	8	2		13	20	3.1%
	男					2	3	2		7			
膵臓	女				1	3	4	1	2		11	29	4.5%
	男			1		6	5	6		18			
喉頭	女											2	0.3%
	男						2				2		
肺	女				2	3	3	7			15	37	5.8%
	男					3	7	11	1		22		
骨・軟部	女										1	1	0.2%
	男						1						
皮膚	女			1	1			5	4	4	14	34	5.3%
	男		1			1		8	7	2	20		
乳房	女		1	7	13	13	23	6		2	65	65	10.1%
	男												
子宮頸部	女		9	6	1	4	3				23	23	3.6%
	男												
子宮体部	女				2	2	2				6	6	0.9%
	男												
卵巣	女		1		2	1			2		6	6	0.9%
	男												
前立腺	女				1	10	27	11			49	49	7.6%
	男												
膀胱	女			1	1	1	1	1	1		5	28	4.4%
	男				1	5	5	9	3		23		
腎・他の尿路	女				1	1	3	1		1	7	19	3.0%
	男					3	6	3			12		
脳・中枢神経系	女	1			1	2	1	3			8	20	3.1%
	男			2	1	2	5	2			12		
甲状腺	女				2						2	5	0.8%
	男				1	2					3		
悪性リンパ腫	女						3				3	10	1.6%
	男					2	2	3			7		
多発性骨髄腫	女										1	1	0.2%
	男						1						
白血病	女					1	1	1			3	5	0.8%
	男					1	1				2		
他の造血器	女								3		3	9	1.4%
	男	1				3		2			6		
その他	女					1		1			2	14	2.2%
	男					6	4	2			12		
総計	女	1	11	18	33	46	71	75	15		270	642	100.0%
	男	1	1	5	17	105	146	86	11		372		



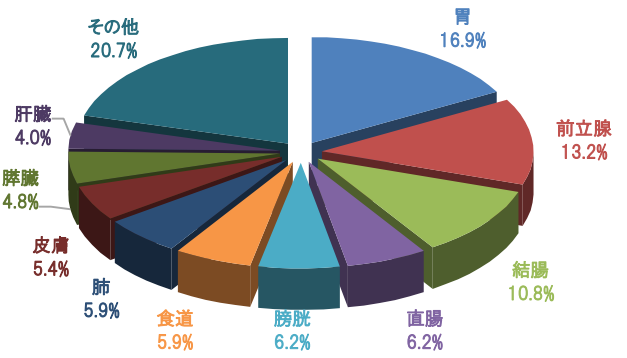
◆登録数は前年より増加(+93件、16.9%)。胃(登録件数+12件、構成比±0.0「以下同じ」)、結腸(+3件、-1.3%)、乳房(+18件、+1.5%)、前立腺(+9件、+0.3%)、直腸(+12件、+1.1%)、肺(+11件、1.1%)、皮膚(-6件、-2.0%)、膵臓(+9件、+0.9%)、膀胱(+6件、+0.4%)、食道(+3件、-0.2%)、上位疾患はほとんど登録数が増加しており、今年の登録数増加に繋がった。

上位10部位(女)



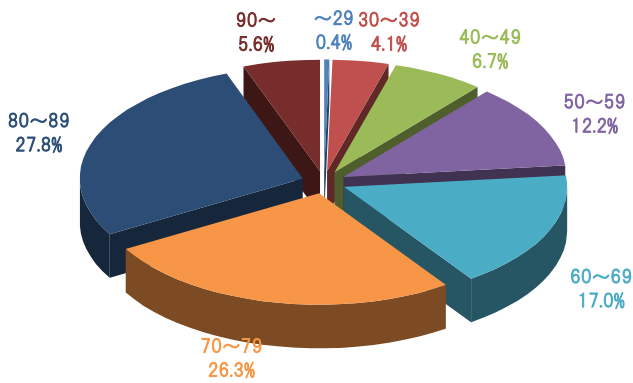
◆乳房は前年と同じく一番多く、全体の約4分の3を占めている。前年多かった胃・皮膚は減少し、結腸・子宮頸部が増え上位になった。

上位10部位(男)



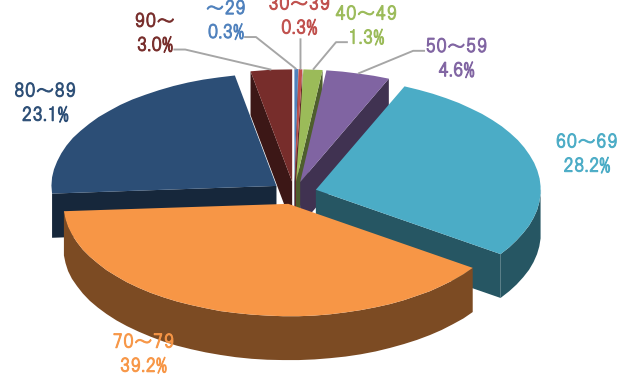
◆今年が胃が一番多く、次いで前立腺、結腸の順、結腸は前年より大きく減少。以下の件数では膀胱が増加している。前年は上位疾患(上位10部位)で9割弱ほどであったが、今年は8割弱程度となっており、上位以外の件数が増えている。

年齢階層別(女)



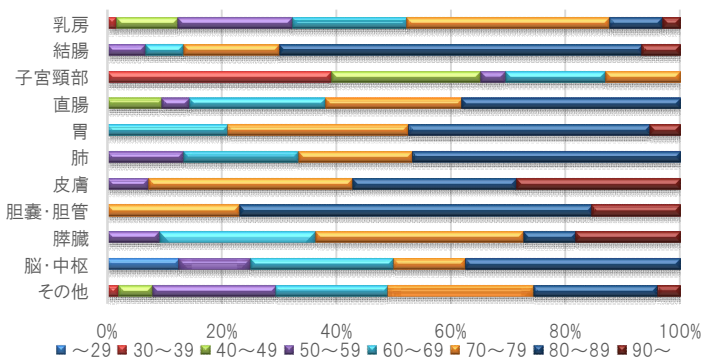
◆60歳以上の割合が4分の3以上を占めている。このなかでも多いのは80代が一番多く、次いで70代60代の順になっている。また、80代は前年よりさらに割合が増えており、高齢者のがんが増えている。

年齢階層別(男)



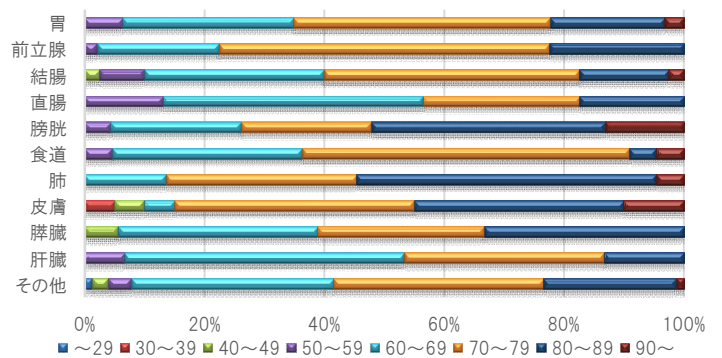
◆60歳以上の割合は9割以上を占めている。70代が最も多く、60代80代の順番となっている。前年は50代も多くなっていたが、今年は減少していた。

上位10部位/年齢階層別(女)



- ◆乳房…40代以降増加しており、70代が多い
- ◆結腸…70代から増加し、80代が多い
- ◆子宮頸部…30代が一番多くなっている

上位10部位/年齢階層別(男)

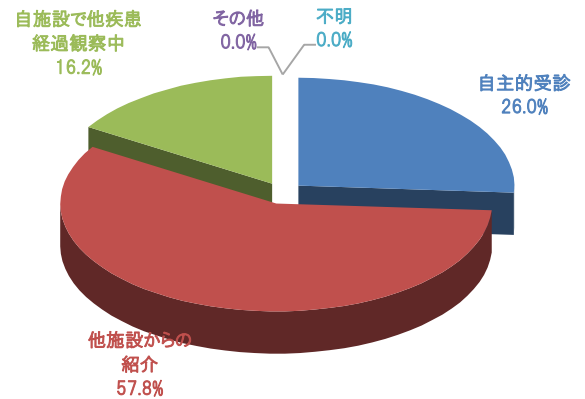


- ◆胃…50代以降増加しており、70代が一番多い
- ◆前立腺…ほぼ60代以降
- ◆結腸…70代が多く、60代が続く、60代から70代で4分の3

《来院経路》

* 当該腫瘍の診断・治療のため
がん患者がどのような経路によって自施設を受診したのかを把握する項目

	自主的 受診	他施設 からの紹 介	自施設で 他疾患 経過観察中	その他	不明	総計
口腔・咽頭	4	10	1			15
食道	5	20	1			26
胃	10	59	13			82
結腸	10	42	18			70
直腸	15	25	4			44
肝臓	5	11	6			22
胆嚢・胆管	4	12	4			20
膵臓	4	23	2			29
喉頭		1	1			2
肺	6	30	1			37
骨・軟部		1				1
皮膚	19	15				34
乳房	28	30	7			65
子宮頸部	10	7	6			23
子宮体部	3	2	1			6
卵巣	3	2	1			6
前立腺	8	24	17			49
膀胱	13	9	6			28
腎・他の尿路	2	11	6			19
脳・中枢神経系	9	9	2			20
甲状腺	2	3				5
悪性リンパ腫	2	5	3			10
多発性骨髄腫		1				1
白血病		5				5
他の造血器	2	5	2			9
その他	3	9	2			14
合計	167	371	104	0	0	642



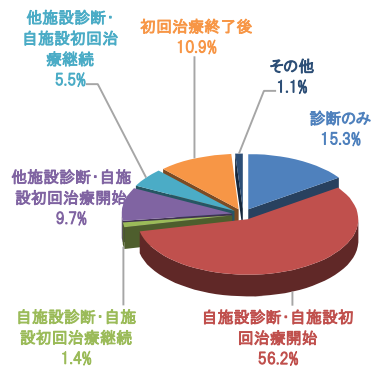
◆ 他施設からの紹介が多く、全体の6割弱が紹介での来院となっており、地域のがん診療連携拠点病院としての役割を果たしている。

◆ 自主的来院も4分の1程度で、部位では乳房・皮膚・膀胱が多くなっている。
他疾患経過観察中では、結腸・前立腺・胃が多い

《症例区分》

* 当該腫瘍の診断および初回治療の過程に、
自施設でどのように関係したかを判断するための項目

	診断のみ	自施設診断 自施設 初回治療開始	自施設診断 自施設 初回治療継続	他施設診断 自施設 初回治療開始	他施設診断 自施設 初回治療継続	初回治療 終了後	その他	総計
口腔・咽頭	11	3				1		15
食道	2	14		7	1	1	1	26
胃	7	39	1	28	1	3	3	82
結腸	2	56	1	8	2	1		70
直腸	5	26		5		7	1	44
肝臓	3	14	2	2		1		22
胆嚢・胆管	7	10			2	1		20
膵臓	5	18	1	1	3	1		29
喉頭	2							2
肺	3	7		1	2	24		37
骨・軟部						1		1
皮膚	2	28	1	2		1		34
乳房	7	41	3	2	12			65
子宮頸部	4	15		2		1	1	23
子宮体部		6						6
卵巣	3	2				1		6
前立腺	15	20			6	7	1	49
膀胱	2	26						28
腎・他の尿路	2	13				4		19
脳・中枢神経系	4	13		2	1			20
甲状腺	1	2				2		5
悪性リンパ腫	7	1			1	1		10
多発性骨髄腫					1			1
白血病				1		4		5
他の造血器	1	1			2	5		9
その他	3	6		1	1	3		14
合計	98	361	9	62	35	70	7	642



◆ 当院で行われた初回治療（新規及び継続）が行われたものは、約4分の3であった。

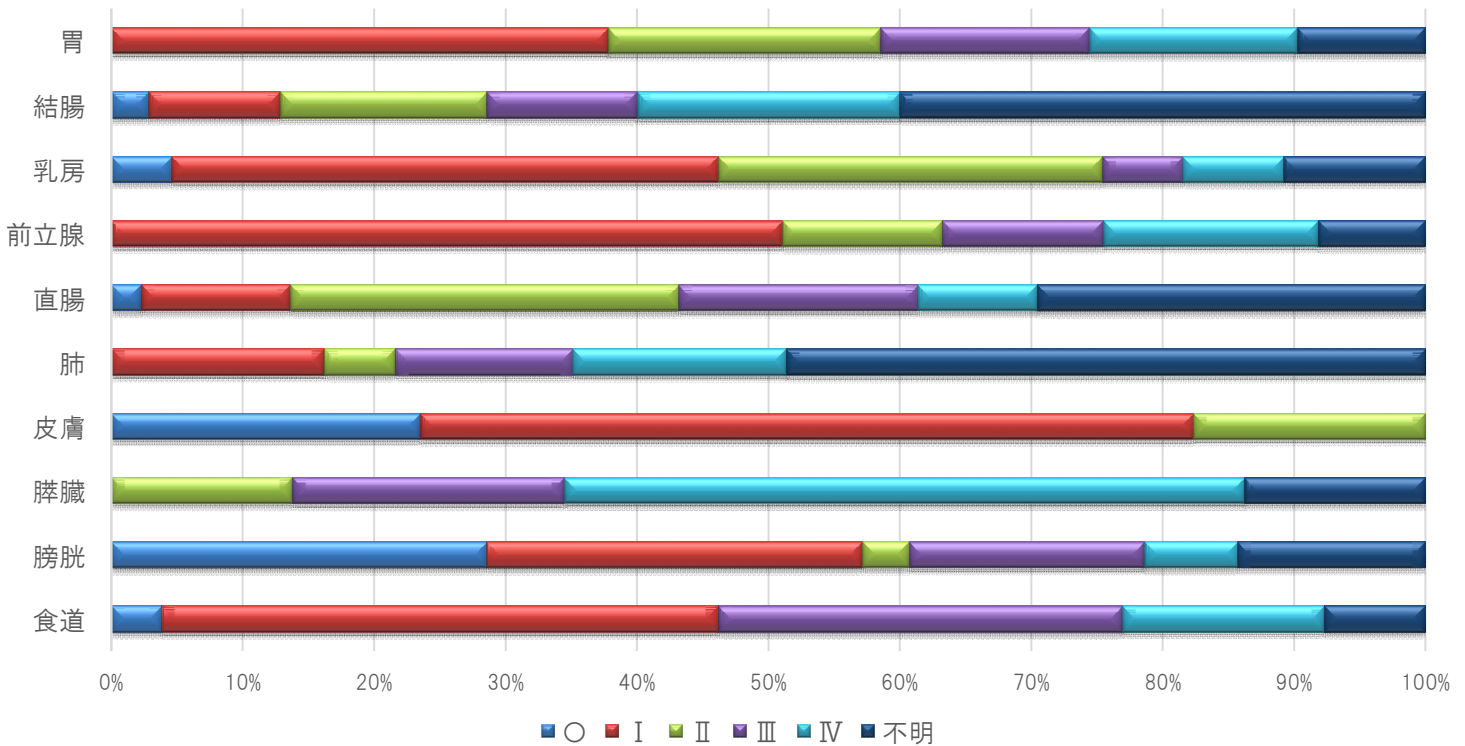
診断のみの割合も高い、要因として前立腺などは、ロボット支援での手術が中央医療圏でしか行えないこともあり紹介が増えている。また、口腔・咽頭も耳鼻科医が1名体制であり、手術となると他施設への紹介が増えていることが考えられる。

《治療前ステージ》

*国際比較のため、UICC TNM 分類により
当該腫瘍の初回治療前の病期を記録するための項目

	○	I	II	III	IV	対象外	不明	総計
口腔・咽頭		2	1	2	6		4	15
食道	1	11		8	4		2	26
胃		31	17	13	13		8	82
結腸	2	7	11	8	14		28	70
直腸	1	5	13	8	4		13	44
肝臓		9	1	4	7		1	22
胆嚢・胆管		4	3	5	6		2	20
膵臓			4	6	15		4	29
喉頭				1	1			2
肺		6	2	5	6		18	37
骨・軟部							1	1
皮膚	8	20	6					34
乳房	3	27	19	4	5		7	65
子宮頸部	15		3	1	2		2	23
子宮体部		4					2	6
卵巣				1	3		2	6
前立腺		25	6	6	8		4	49
膀胱	8	8	1	5	2		4	28
腎・他の尿路	1	4	3		6		5	19
脳・中枢神経系						20		20
甲状腺					1		4	5
悪性リンパ腫		1		2	3		4	10
多発性骨髄腫						1		1
白血病						5		5
他の造血器						9		9
その他		1	1	2		5	5	14
合計	39	165	91	81	106	40	120	642

◇◇◇ 上位10部位 ◇◇◇



◆治療前ステージ ○期…6.1%、I期…25.7%、II期…14.2%、III期…12.6%、IV期…16.5%、対象外・不明…24.9%
(※治療前のステージであり「不明」が多くなっている)

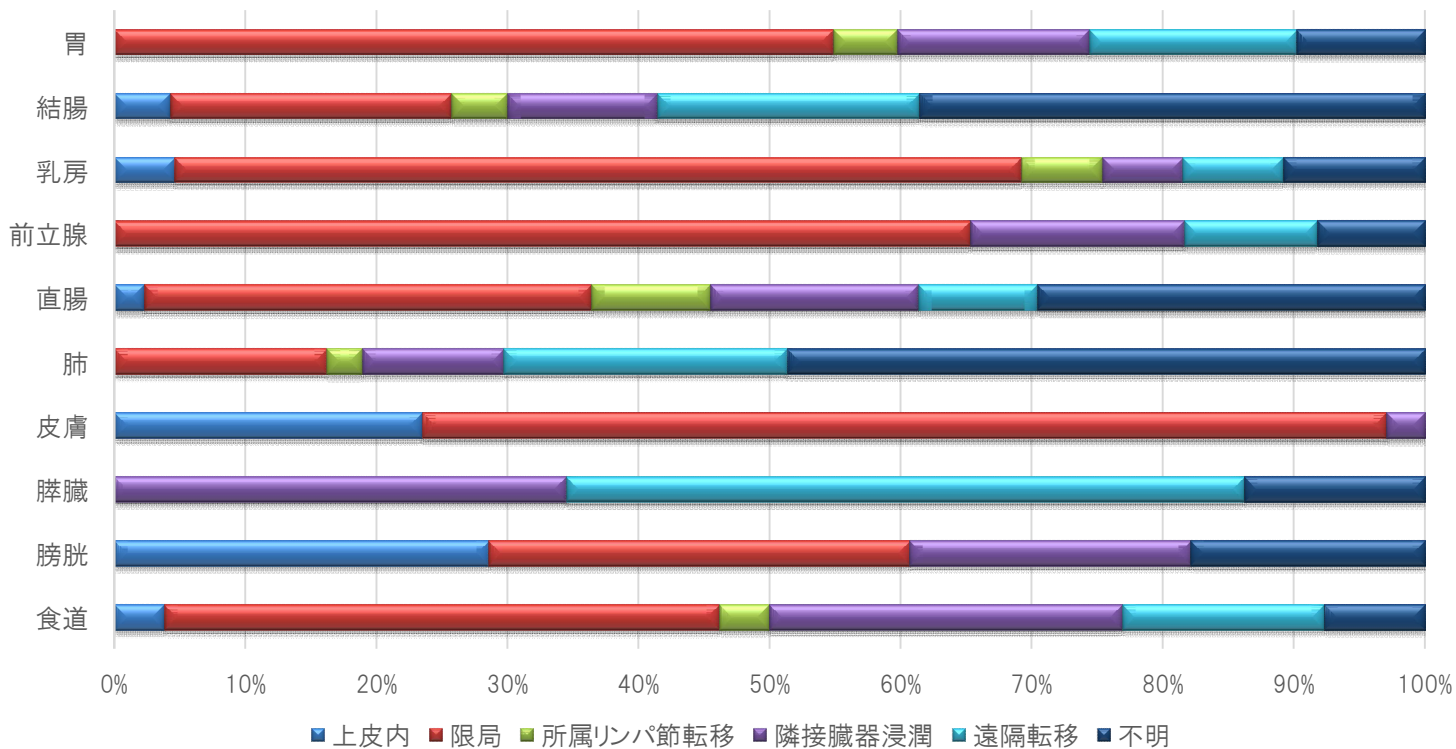
◆上位部位(部位ごとで一番多いステージ<※不明除く>)

胃… I期(37.8%)、結腸… IV期(20.0%)、乳房… I期(41.5%)、前立腺… I期(51.0%)、
直腸… II期(29.5%)

《治療前 進展度》 * 当該腫瘍の初回治療前のがんの拡がりを記録するための項目
 * 他の病期分類などの変更の影響を最小限にして、経時的な比較を行うために定められている

	上皮内	限局	所属リンパ節転移	隣接臓器浸潤	遠隔転移	対象外	不明	総計
口腔・咽頭		3	3	3	2		4	15
食道	1	11	1	7	4		2	26
胃		45	4	12	13		8	82
結腸	3	15	3	8	14		27	70
直腸	1	15	4	7	4		13	44
肝臓		13	1	3	4		1	22
胆嚢・胆管		4	2	7	5		2	20
膵臓				10	15		4	29
喉頭		1		1				2
肺		6	1	4	8		18	37
骨・軟部							1	1
皮膚	8	25		1				34
乳房	3	42	4	4	5		7	65
子宮頸部	15			4	2		2	23
子宮体部		4					2	6
卵巣				1	3		2	6
前立腺		32		8	5		4	49
膀胱	8	9		6			5	28
腎・他の尿路	1	7		4	2		5	19
脳・中枢神経系						20		20
甲状腺					1		4	5
悪性リンパ腫		1			5		4	10
多発性骨髄腫						1		1
白血病						5		5
他の造血器						9		9
その他		2		2		5	5	14
合計	40	235	23	92	92	40	120	642

◇◇◇ 上位10部位 ◇◇◇



◆治療前(進展度) 上皮内…6.2%、限局…36.6%、所属リンパ節…3.6%、隣接臓器浸潤…14.3%、遠隔転移…14.3%
 対象外…6.2%、不明…18.7%

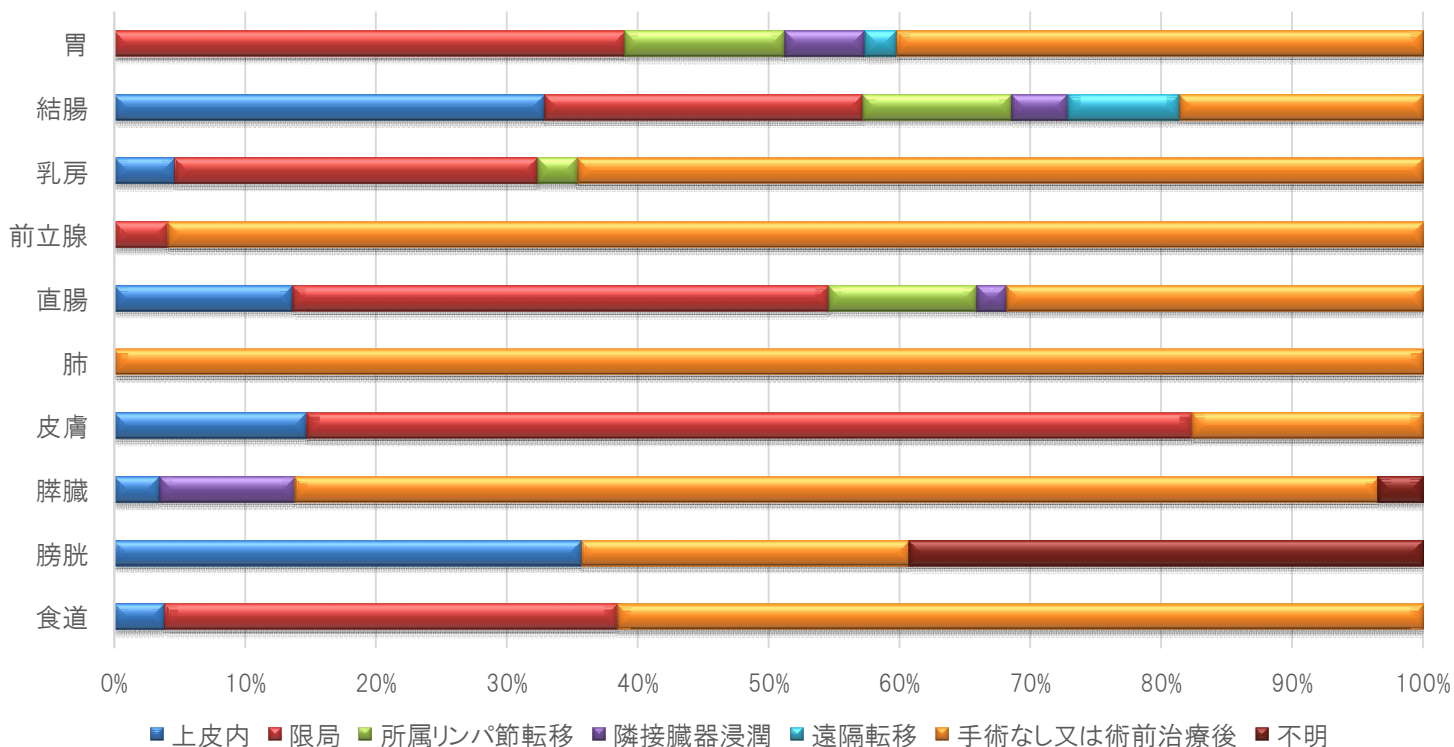
(※治療前のステージと同様に、臨床診断のため「不明」が多くなっている)

◆上皮内・限局の早期がんは、胃・乳房・前立腺・皮膚・膀胱・食道が多い

《治療後 進展度》 * 当該腫瘍の手術標本などにより補完された初回治療前のがんの拡がりを記録するための項目
* 経時的な比較を行うために定められている

	上皮内	限局	所属リンパ節転移	隣接臓器浸潤	遠隔転移	手術なしまたは術前治療後	対象外	不明	総計
口腔・咽頭						15			15
食道	1	9				16			26
胃		32	10	5	2	33			82
結腸	23	17	8	3	6	13			70
直腸	6	18	5	1		14			44
肝臓		7			1	14			22
胆嚢・胆管		1		4		15			20
膵臓	1			3		24		1	29
喉頭						2			2
肺						37			37
骨・軟部						1			1
皮膚	5	23				6			34
乳房	3	18	2			42			65
子宮頸部	12	1				10			23
子宮体部		6							6
卵巣		1				5			6
前立腺		2				47			49
膀胱	10					7		11	28
腎・他の尿路	1	3				15			19
脳・中枢神経系							20		20
甲状腺		2				3			5
悪性リンパ腫						10			10
多発性骨髄腫							1		1
白血病							5		5
他の造血器							9		9
その他		1		2		6	5		14
合計	62	141	25	18	9	335	40	12	642

◇◇◇ 上位10部位 ◇◇◇



◆治療後(進展度) 上皮内…9.7%、限局…22.0%、所属リンパ節転移…3.9%、隣接臓器浸潤…2.8%、遠隔転移…1.4%
手術なしまたは術前治療後…52.5%、対象外…6.2%、不明…1.9%
(※手術なしまたは術前治療後には、経過観察や他施設への紹介も含まれており、多くなっている)

◆「手術なしまたは術前治療後」の要因として、肺は初回治療が経過観察、初回治療後紹介が主になっている。前立腺も経過観察と他施設への紹介が多い。また、乳房・食道は術前治療も多いので、これらの要因となっている。

